






月日 (日時)	/	/	/
経過 (病日等)	手術前日	手術直前	手術直後 手術後1日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に必要なものの準備が整い、不安なく手術に臨むことができるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に手術を受けることができるように準備をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが少ない状態で過ごせるようにしましょう。 安静に過ごしましょう。
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 医師により、手術のための点滴の注射をします。(注射部位：内頸静脈または鎖骨下静脈) 	<input type="checkbox"/> 手術室にて点滴があります。 <input type="checkbox"/> 午前中に点滴を始めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 内頸静脈または鎖骨下静脈の太い血管から点滴をします。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服している薬を確認します。 <input type="checkbox"/> 通常通りにお飲みください。 <input type="checkbox"/> 中止の薬があります。() 昼食後に下剤を内服します。 夜間、眠れない場合は睡眠剤を内服します。 	<input type="checkbox"/> 内服薬はありません。 <input type="checkbox"/> ()時に()を内服します。	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強い場合は、痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師又は看護師にご相談下さい。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 身長・体重測定をします。 必要に応じて検査が入ることがあります。 		<ul style="list-style-type: none"> (血液検査/尿検査/レントゲン) があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防のためにお臍の掃除と必要な範囲の除毛をします。 		<ul style="list-style-type: none"> 足に血栓予防のためにフットポンプ (ふくらはぎのマッサー) が付きます。 手術室で鼻 (胃管) とお腹に管が入ってきます。 背中からは痛み止めの管も入ってきます。 酸素吸入を翌日朝まで行います。 手術後より血糖測定があります。
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室へは車いす、または歩いて行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静になります。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 夕食は5分粥食とOS-1 500mlをお配りします。 午後9時より禁食です。 午前0時以はOS-1のみ飲水可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術が午後の場合は朝8時にOS-1 500mlをお配りします。 手術開始3時間前までにOS-1をお飲みください。 	<ul style="list-style-type: none"> 禁飲食です。 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> お臍の掃除と除毛後にシャワーを浴びてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の洗顔・歯磨き・男性の方は髭剃りをしてください。 保湿クリーム・お化粧品はしないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします パジャマへの着替えをお手伝いいたします。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 下剤内服後に排便がありましたら看護師にお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、排便状況を確認します。 朝までに排便が無い場合は浣腸をします。 手術前にトイレをすませてください 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は尿の管が入っています。 手術後はベッド上での排便となりますので、ナースコールでお知らせください。
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活について説明いたします。 手首にネームバンドをつけます。 手術の一連の流れについて説明いたします。 手術に必要な物品を確認します 医師から手術について説明があります。 手術に関する同意書を確認します。 手術中の顔色や爪色の観察のため、化粧やマニキュアは落としてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術予定時間は()時頃です。 手術衣に着替えて、下着を全て外し準備してください。 弾性ストッキングを履いてください。 <input type="checkbox"/> 8時までに着替えをして準備をしてください。 <input type="checkbox"/> ()時までに着替えをして準備をしてください。 手術室へ出発するときは、時計・眼鏡・コンタクトレンズ・入れ歯・指輪・湿布、ヘアピンなどを外します。 長い髪の方は飾り・金属のないゴムで髪の毛を2つにむすんでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の方は看護師が声をかけるまでラウンジ、個室の方はお部屋で待機してください。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。

月日 (日時)	/	/	/	/	/	/
経過 (病日等)	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが少ない状態で過ごせるようにしましょう。 散歩や日常の動作ができるようになりましょう。 				<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりと食事を摂ることができるようになりましょう。 ダンピング症状について理解し、対処できるようになりましょう。 	
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 内頸静脈または鎖骨下静脈の太い血管から点滴をします。 					
薬	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強い場合は、痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師又は看護師にご相談ください。 				 <ul style="list-style-type: none"> 中止している薬の再開時期について、医師または看護師から説明があります。 痛みが強い場合は、痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師又は看護師にご相談ください。 	
検査		<ul style="list-style-type: none"> (血液検査/レントゲン) があります。 			<ul style="list-style-type: none"> 手術後6-8日目に透視 (消化管の流れを見る検査) を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> (血液検査/レントゲン) があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 血糖測定が (朝・昼・夕) にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 血糖測定が (朝・昼・夕) にあります。 背中痛み止めの管は手術後3日目に抜ける予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 血糖測定が (朝・昼・夕) にあります。 		<ul style="list-style-type: none"> 血糖測定が (朝・昼・夕) にあります。 お腹の管を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 血糖測定が (朝・昼・夕) にあります。 医師によりお腹の糸を半分抜糸します。
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 室内歩行ができるようになります。 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内歩行ができるようになります。 ラジオ体操に参加しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 ラジオ体操に参加しましょう。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 禁飲食です。 		<ul style="list-style-type: none"> 氷のみ摂取可能となります。看護師がお持ちします。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲水が開始になります。初回飲水は看護師見守りのもと行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃切食1を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃切食2を提供いたします。
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 看護師が洗髪を行います。 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 		<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 		<ul style="list-style-type: none"> 看護師が洗髪を行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 手術後2-3日目で尿の管を抜きます。 尿の管を抜いた後も尿量を測ってください。 		<ul style="list-style-type: none"> 1日の尿量を測ってください。 			
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> お腹や首に管が入っているため、動く時には引っばられないように注意してください。 少しずつ歩く範囲を広げて行きましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> 1回目の栄養指導があります。栄養士がお部屋に伺います。 		<ul style="list-style-type: none"> ダンピング症状について知りましょう。(別紙参照) 食事はゆっくり時間をかけて摂取してください。 食事中、食後に気持ち悪い、お腹が痛い、冷や汗があるなど異変がありましたら、食事は中断し看護師へお知らせください。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。

月日（日時）	/	/	/	/
経過（病日等）	手術後8日目	手術後9日目	手術後10日目	手術後11日目～
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> • ゆっくりと食事を摂ることができるようにしましょう。 • ダンピング症状について理解し、対処できるようにしましょう。 • 排便コントロールをしましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> • 退院後の生活について、必要な知識を得ることが出来るようにしましょう。
点滴	<ul style="list-style-type: none"> • 内頸静脈または鎖骨下静脈の太い血管から点滴をします。 	<ul style="list-style-type: none"> • 内頸静脈または鎖骨下静脈からの点滴が終了したら、末梢(手)より点滴を開始します。 		<ul style="list-style-type: none"> • 体調を見ながら点滴の管を抜きます。
薬	<ul style="list-style-type: none"> • 痛みが強い場合は、痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師又は看護師にご相談ください。 			
検査				
処置	<ul style="list-style-type: none"> • 血糖測定が（朝・昼・夕）にあります。 • 医師により全抜糸（残った半分の糸の抜糸）をします。 	<ul style="list-style-type: none"> • 内頸静脈または鎖骨下静脈の点滴を抜きます。 • 内頸静脈または鎖骨下静脈からの点滴が終了したら、血糖測定は終了です。 		
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> • 制限はありません。 • ラジオ体操に参加しましょう。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> • 胃切食3を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> • 胃切食4を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> • 胃切食5を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> • 胃切食6を提供いたします。
清潔				<ul style="list-style-type: none"> • 点滴の管、お腹の管が抜け、抜糸が終わってしましたら、シャワー浴ができます。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> • 1日の尿量を測ってください。 		<ul style="list-style-type: none"> • 尿量の測定を終了します。 	
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> • ダンピング症状について知りましょう。（別紙参照） • 食事はゆっくり時間をかけて摂取してください。 • 食事中、食後に気持ち悪い、お腹が痛い、冷や汗があるなど異変がありましたら、食事は中断し看護師へお知らせください。 			<ul style="list-style-type: none"> • 2回目の栄養指導があります（別紙参照）。栄養指導はお家でお食事を作られる方と一緒に聞きください。 • 退院時、次回外来日について看護師より説明します。 

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。